

競技注意事項

◎本大会は、2009年（財）日本陸上競技連盟競技規則及び第64回国民体育大会陸上競技実施要項並びに本大会要領による。

1 招集について

- (1) 競技者招集は、100mスタート付近ダッグアウトで行う。
- (2) 招集完了時刻は、予選・決勝ともに競技開始時刻を基準として次の通りとする。この時刻に遅れた者は、競技に参加しないものとして取り扱う。

*ハンマー投は競技者受付、招集、競技ともに駒沢オリンピック公園陸上競技場付帯投てき場（軟式野球場）で16日（日）に行う。

| | 予・決 | 招集完了時刻 | 備考 |
|---------|--------|----------|-------------------------|
| トラック競技 | 予選1～8組 | 競技開始20分前 | |
| | 予選9組～ | 競技開始5分前 | |
| | 決勝 | 競技開始15分前 | 少男B3000m第2組は5分前、第3組は5分後 |
| フィールド競技 | 決勝 | 競技開始40分前 | 成男、少年男共棒高跳は60分前 |

- (3) 代理人による招集は認めない。但し、種目を兼ねて出場する者で同時に2種目出場するものは、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。

2 ナンバーカードについて

ナンバーカードは主催者で用意し、競技者受付係で交付する。そのままの大きさと、胸・背部に確実に付ける（ただし走高跳、棒高跳は胸・背部のどちらか一方でよい）。競技終了後競技者受付係に番号順にそろえて返却する。

3 競技について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載順による。
- (2) トラック競技で決勝進出の上位8名の取り扱いは、同記録が出た場合は写真を拡大して精査するが、それでも判定できない場合は抽選で決勝進出者を決定する。
- (3) 決勝の組合せやレーン順等は、予選の結果に基づき公平に編成し、競技者招集所に掲示する。
- (4) 400mまでの自分のレーンを走る競技では、安全確保のためフィニッシュラインを通過後も自分のレーンを走る。
- (5) 少年男子A5000m、少年男子B3000mはグループスタートとする。
- (6) 成年男・女10000mWは実施せず、5000mWを行う。
- (7) 競歩競技は35分で競技を打ち切る。
- (8) 棄権する場合は、棄権届に必要な事項を記入し競技者係主任に提出する。診断書の提出は必要ない。用紙は競技者係に備えてある。
- (9) 競技に使用する用器具は、競技場備え付けのものを使用する（棒高跳用ポールを除く）。やりについては個人所有のものの使用を認める。ただし競技開始1時間前までに公式計測員の検定を受け合格したものに限る。また検定に合格したやりは、総務が借り上げ、その種目に参加する全て

の競技者が使用できる。

(10) 本競技場は全天候舗装のため、使用する競技用スパイクについては競技規則第143条を参照。

(11) 競技用器具の規程

2009年(財)日本陸上競技連盟規則によるもののほか、次による。

- ① 少年男子B 110mHの高さ、ハードル間=0.991m/9.14m
- ② 少年女子A 100mHの高さ、ハードル間=0.840m/8.50m
- ③ 少年女子B 100mHの高さ、ハードル間=0.762m/8.50m
- ④ 少年男子A 砲丸投=6.000kg
- ⑤ 少年女子B 砲丸投=4.000kg
- ⑥ 少年男子A ハンマー投=6.000kg
- ⑦ 少年女子A ハンマー投=4.000kg
- ⑧ 少年男子B 円盤投=1.500kg
- ⑨ 少年女子共通円盤投=1.000kg

(12) 跳躍競技について

① バーの高さと上げ方

| 種目 | 種別 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
|-----|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 走高跳 | 少男共 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 1m90 | 1m95 | 2m00 | 2m03 | 2m06 | 以後 3cm |
| | 成女 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m73 | 1m76 | 1m79 | |
| | 少女共 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m63 | 1m66 | 1m69 | |
| 棒高跳 | 成男 | 4m40 | 4m50 | 4m60 | 4m70 | 4m80 | 4m90 | 5m00 | 5m10 | 以後 5cm |
| | 少男共 | 3m50 | 3m60 | 3m80 | 4m00 | 4m20 | 4m30 | 4m40 | 4m50 | |
| | 少女共 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | 2m90 | 3m00 | 3m10 | 3m20 | 3m30 | |

以降は最後の1人になるまで、走高跳は3cm、棒高跳は5cm刻みとする。

なお、天候や出場選手の状況によりフィールド審判長の判断で変更する場合もある。

- ② 少年男子A三段跳の踏切板から砂場までの距離はフィールド審判長が決定する。
- ③ 少年男子A、少年男子B、少年女子共通走幅跳について

上記の跳躍種目については、3回目までA・Bピットで行い、上位8名による4回目以降もそのまのピットで行う。

4 国体参加人数について

- (1) 成年男子、成年女子を問わず、教員1名を出場させなければならない。教員の出場がない時には成年男女の全種目に出場できない。
- (2) 国体実施種目数は、男子30種目、女子25種目である。

5 国体選手選考について

- (1) 上記に基づき、監督2名、選手は教員1名を含む男女計29名以内(男子19名以内、女子19名以内)で編成する。入賞できるレベルを中心に選考する。
- (2) 中学生は通信大会・都総体・関東大会・全国大会の成績も加味する。
- (3) 高校生は都総体・南関東大会・都選抜・都1年生大会・全国大会の成績も加味する。

6 その他

- (1) 申込後の種目の変更は認めない。
- (2) 各競技場所へは必ず競技者係の誘導に従う。
- (3) 場内における練習は、全て審判員の指示に従う。
- (4) 携帯電話、CD、カセットレコーダー等は競技場内に持ち込めない。
- (5) 競技場に商品名の付いた衣類やバックを持ち込む場合、以下の規程を守る。
 - 上半身の衣類(ランニングベスト)：高さ4cm以内、トータルのロゴの高さ5cm以内、面積30cm²以内、1箇所。
 - 上半身の衣類(Tシャツ・ジャージ・ウインドブレーカー等)：高さ4cm以内、トータルのロゴの高さ5cm以内、面積40cm²の長方形、1箇所。
 - 下半身の衣類：高さ4cm以内、面積20cm²、1箇所。
 - バック 面積25cm²以内、2箇所まで。
 - *競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。詳細は、「競技会における広告および展示に関する規程」を参照。
- (6) 競技中の事故については主催者で応急処置はするが、以後の責任は負わない。
- (7) 更衣室は男女別の表示に従って使用する。なお、更衣室に荷物は置かず、貴重品は各自で管理する。
- (8) ゴミは全て持ち帰り、競技場内の美化に協力する。
- (9) 競技中の事故については主催者で応急処置はするが、以後の責任は負わない。

競技場のウォーミングアップについて

- 1 9時45分まではトラック全周を使用できる。
- 2 ウォーミングアップエリアは第2コーナーから第3コーナーまでとし、審判、役員の手引に従う。
- 3 ウォーミングアップエリアでの応援は絶対にしない。応援はスタンドで行う。
- 4 ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を歩いて行く。また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつける。

*軟式野球場もウォーミングアップエリアとして開放する。但し「ハンマー投」競技中は使用できない。

国民体育大会東京都代表選手合宿について

国民体育大会東京都代表選手に選出された選手は次の日程で実施する国体強化合宿に参加すること。

第一次合宿 平成21年8月24日(月)～26日(水) 2泊3日

練習会場 日本体育大学(健志台)

宿泊施設 梶ヶ谷プラザホテル

第二次合宿 平成21年9月19日(土)～20日(日) 1泊2日

練習会場 日本大学競技場

宿泊施設 国立オリンピック青少年センター